

サラリーマン川柳(物忘れ メモした紙も 見当たらず) (デジタルに なってスターの 顔のしわ) (学園祭 父の姿を 娘無視) (飲み屋では 常に情報 漏えい中)



S J ネット勤労者スポーツ交流会開催

若者50人がヨガを楽しむ

運動不足やストレスから解放され笑顔

10月20日(水)、連合中越S J ネット委員会(青年・女性委員会)主催の「S J ネット勤労者スポーツ交流会」が長岡市勤労会館にて開催され、50名の参加があった。

当日は午後6時30分に開催。「ヨガ教室」初心者向けのヨガ入門」と題し、S J ネット委員会の担当者が企画した。昨年、行ったボウリング大会と参加者数は、ほぼ同じではあったが、今回は女性の参加が9割を占めていた。

主催者代表として、前田委員長から挨拶の後、担当委員の桑野事務局長の司会による。

講師は、長岡市内にあるヨガスタジオ「アランジャリ」のインストラクター大塚あきこさんをお迎えし、ヨガのミニ知識や日常生活に役立つ呼吸法、基礎のポーズなどを学んだ。

「楽な姿勢を取ると猫背になりがち。今の姿勢が正しいかも知らないけれど、実はこれが正しい姿勢」一身体が聞こえた。

今回のヨガ教室は午後8時に終了、参加者からは「普段の疲れが取れた」など、喜ぶ声が聞こえた。



第694号2010. 11. 1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円



見附市長選挙・久住氏3選

10月24日(日)投開票の見附市長選挙において、連合推薦の久住時男氏(現職)が見事3選をはたされた。

見附市長選挙開票結果

当選 久住時男	11,274票
桑山三郎	3,062票

各産別・単組・組合員の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。
ありがとうございました。
連合中越議長 矢島 良彦

S J ネット 第11回委員会開催

10月20日、午後8時 S J ネット委員会は第11回委員会を開催することとし、12月に行うS J ネット総会の議案書作成等を行う。

また、次回委員会を11月11日に開催することとし、12月に行うS J ネット総会の議案書作成等を行う。

2010労働相談ダイヤルキャンペーン 最低賃金・デイサービスセンターワーク街宣

中越地協エリア内でチラシなどでアピール

連合新潟は「2010労働相談ダイヤルキャンペーン」として、2年ぶりに改定となった県内最低賃金をはじめ、デイサービスセンターや労働相談ダイヤル周知のキャンペーンを10月7日から実施している。今回の街宣行動は連合新潟結成20周年事業の一環でもある。

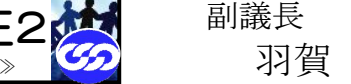
このキャンペーン街宣行動が、連合中越エリア内で10月15日(金)の見附・栃尾両支部を皮切りに行われた。初日の栃尾支部エリアと見附支部エリアではスパー近くで街頭宣伝16日(土)は小千谷支部エリア、17日には北魚沼・南魚沼支部エリアでもアピールチラシを配布。18日(月)は十日町支部

日系航空会社で働く中国人が日本人について綴ったもの

行きの荷物を大阪に運んでしまうミスが発生した。その荷物の持ち主の日本人男性は全日空の上顧客であり、社員たちは緊張した面持ちで男性に謝罪に行っていた。しかし、男性は穏やかに社員たちの労をねぎらった。人は立場が高くなれば姿勢は低くなり、こういう人間こそが本当に成功出来る。と彼女は思った。またある時、空港内でペットボトルを持って走っている子供がいた。彼女が尋ねたら、「どのゴミ箱に捨てるのかわからない」と答えた、このような小さな子供でも



日系航空会社で働く中国人が日本人について綴ったものがある。ある時、東京行きの荷物を大阪に運んでしまうミスが発生した。その荷物の持ち主の日本人男性は全日空の上顧客であり、社員たちは緊張した面持ちで男性に謝罪に行っていた。しかし、男性は穏やかに社員たちの労をねぎらった。人は立場が高くなれば姿勢は低くなり、こういう人間こそが本当に成功出来る。と彼女は思った。またある時、空港内でペットボトルを持って走っている子供がいた。彼女が尋ねたら、「どのゴミ箱に捨てるのかわからない」と答えた、このような小さな子供でも



副議長 羽賀 実

ミの分別という概念を持つていることに驚いたという。中国人が国外に出ようとしてもビザ取得が非常に難しいのが現実。しかし、日本人は同じアジア人だといふのにビザの取得は非常に簡単である。これは日本経済によるものではなく、外国人が日本人の教養・素養を中国人よりもはるかに高く評価していることに起因する。人間の素養は行動一つ一つの細かいところに見える。隠れするものであり、いから素養を高いように飾って装っても最後には必ず露見するものだ。人にとって国籍は最大の名刺となると言うても過言ではないだろう。



このキャンペーン街宣行動が、連合中越エリア内で10月15日(金)の見附・栃尾両支部を皮切りに行われた。初日の栃尾支部エリアと見附支部エリアではスパー近くで街頭宣伝16日(土)は小千谷支部エリア、17日には北魚沼・南魚沼支部エリアでもアピールチラシを配布。18日(月)は十日町支部

このキャンペーン街宣行動が、連合中越エリア内で10月15日(金)の見附・栃尾両支部を皮切りに行われた。初日の栃尾支部エリアと見附支部エリアではスパー近くで街頭宣伝16日(土)は小千谷支部エリア、17日には北魚沼・南魚沼支部エリアでもアピールチラシを配布。18日(月)は十日町支部

このキャンペーン街宣行動が、連合中越エリア内で10月15日(金)の見附・栃尾両支部を皮切りに行われた。初日の栃尾支部エリアと見附支部エリアではスパー近くで街頭宣伝16日(土)は小千谷支部エリア、17日には北魚沼・南魚沼支部エリアでもアピールチラシを配布。18日(月)は十日町支部

会議では連合中越地協内各地域L S Cがサテライト化となり、その体制と今後の運営を相談したほか上期相談受付状況が事務局から報告された。



矢島理事長からは「5年計画の中間期を迎えているが6年以降が課題となる。相談状況を見据え更に協力願いたい」と挨拶。

ながおかL S C 四役会議諸活動確認

ながおかライフサポートセンター(L S C)第2回四役会議が、10月19日(火)13時30分に開催された。

21日(木)には地協内の一部であるが新聞朝刊に折込チラシが入り2件の相談が寄せられた。同日夕方柏崎地協へ街宣車をバトンタッチした。

19日(火)からは長岡市内を中心にスパーや人通りの多いところでチラシも配布。寺泊アメ横でも行った。

サラリーマン川柳 (ランドセル本より重いママの夢) (うるさいと一番大きな声でいい)

連合十日町支部だより



5月29日に「アジア・アフリカ救援米田植え」を実施いたしました。収穫の時期となりましたので、10月2日(土)に稲刈りを行いました。

田んぼの所有者の都合により、春に田植えをした田の稲は既に刈り取られていたため、別の田の稲刈りをする事となりました。

稲刈りには絶好の天気の中で、約30名の老若男女の参加者が集まり、慣れない手つきながら一生懸命に稲を刈りました。



稲刈り作業後は収穫祭として三ツ山集会所前で餅つきをおこない、つきたての餅を昼食会で味わいました。

連合南魚沼支部だより

お世話になっております、南魚沼支部です。

今回は、9月22日に行われました「勤労者ボウリング大会」について報告したいと思います。

育成会さまと共催のかたちで行われ、参加者は40名となりました。当支部主催のボウリング大会では見かけない方も参加されており、良い交流の場になったことを喜ばしく感じております。

これほど盛況なら、支部内でのボウリング大会を増やしてもいいかな?と思ったほどです。未定ではありますが、今後の検討課題にしたいと思います。



県議16年の経験を活かし、県政・国政との太いパイプで、強く元気な小千谷を市民の皆さんと一緒に創りたい。

情熱の行動派

さとう信幸

さとう信幸は 愛する小千谷の自立のために お約束します!

連合新潟 推薦

新病院の建設・診療科目の充実等に確かな実行力を発揮します!

● 住民視点の現場主義! 開かれた市民参加の市政の実現(情報公開と行政改革の推進)

- ▶ 市民に対して説明責任をきちんと持つ市政を確立します
- ▶ 市民参加型市政の確立で、自立した共生する地域社会を実現させます。さとうは白立派!
- ▶ 行政の透明性をあげ、市民サービスを充実させ、行政を活性化させます
- ▶ 小千谷の課題に目をそむけず、市民視点の現場主義で果敢に取り組みます
- ▶ 誰もが、市長に相談や提案ができる定期的に地域を訪問する移動市長室の設置など、現場に赴き 住民視点での市政の実現を目指します

● 市民の真剣なニーズに応える! こどもから高齢者まで安心して住むことのできる小千谷づくり

- ▶ 新病院の早期建設促進に努めます
- ▶ 病院と連携した病時保育を創設します
- ▶ 既存の施設が市民にとって、使いやすいものになるように効率的な運営を進めます
- ▶ 地域包括支援センターの機能強化や高齢者福祉施設のネットワーク化を図り、高齢者福祉の推進を図ります
- ▶ 小中学校の熱中症対策・冷房化の促進に努めます
- ▶ ワークショップを導入した魅力的な公園づくりの促進・拡大を進めます
- ▶ 意欲ある若年地域支援員・集落支援員の設置、地域コミュニティバスの研究等で、地域コミュニティの絆の強化・活性化を図ります。
- ▶ 音楽スタジオやダンススタジオ・フィットネススタジオ・ヨガやリラクゼーションルーム・ワークショップ開催機能を備え、ぐんぐんてくてくのような子育て支援機能も備えた文化・芸術・スポーツの市民活動の拠点づくり(市民プラザ)を目指します。
- ▶ 地域医療体制の持続のため、医師確保奨学金制度や新病院市民応援団等の創設を目指します

● 小千谷をもっと輝かせる! トップセールスの実行! 地域資源の価値と活用の効果を自覚し、発信できる小千谷

- ▶ 市長が先頭に立って、小千谷ブランドの発信を行います
- ▶ 地場産業活性化への支援と企業誘致で積極的雇用を創出します
- ▶ 農林業等、新しい公共事業の創出による地域生活基盤の整備に努めます
- ▶ 地域経済再生を最優先に、市内企業の活性化に向け、政府・県との連携を強化し、支援策実現のための予算獲得に全力で取り組みます
- ▶ 小千谷産コシヒカリの販路拡大に努め、日本一の米づくりを支援します
- ▶ キラリと輝く小千谷の食・農・文化を発信し、観光の発展と交流人口の拡大を図ります
- ▶ NPOや地域防災組織、広域消防、消防団との連携を強化し、中越大地震の経験を教訓に、国・県と連携し、小千谷ならではの防災ツーリズムの促進を図ります
- ▶ 地域で取り組まれている様々な行事・地域活性化プログラムを市内外に発信するために、地域活性化小千谷大賞(仮)などを設け、取り組みを表彰します
- ▶ 農業特区の新設(養蠶池の農地化など)を促進します

● 水・空気・食べ物・風景が何よりのブランド! 安心・安全な環境、旨し国おちや・美味しいおちやを市民の誇りに!

- ▶ おちやの食・農産物のブランド確立のため、JA越後おちやや意欲ある生産者の皆さんと連携して、直売所の支援や学校給食との連携で、地産地消・地場産農産物の消費拡大に努めます
- ▶ 地場産農産物を積極的に使用する店舗を小千谷版「緑のお店」として、積極的に支援します
- ▶ 小千谷産食材を更に活用した給食の実現や積極的な食育教育で、健康で、心豊かなおちやっ子を育てます
- ▶ 公用車のエコカー・グリーンカーの切り替えに努めます ▶ 朝の通勤には、公用車を使わず、徒歩・自転車で、通います
- ▶ そば街道・菜の花街道・あじさい街道など、四季折々の花街道の整備促進で、美しい小千谷を発信します



若者に夢を! お年寄りに安心を!

【小千谷市長選挙】告示日…11月7日(日) 投開票…11月14日(日)